



学校給食費
(町立小中学校)

4月から

完全無償化

副食費

(保育所、幼稚園、認定こども園、
認可外保育施設(企業主導型含む)など)

4月から

1人当たり月額

最大4,800円を補助

無償化に関する Q&A

事業の規模は？

学校給食費の無償化には約2億8千万円、副食費の無償化には約6,600万円、合計で毎年度3億4,600万円が必要になります。

無償化の対象者は？

町内に住所を有する、町立小中学校の児童・生徒(約4,500人)および、さまざまな保育施設に通う園児(約1,200人)が対象です。

また、学校給食に関して、町外の支援学校に通っている場合や、入院などにより長期で給食を停止した場合は、給食費相当額を上限に、保護者に補助します。

無償化の財源は？

学校給食費、副食費の無償化を実施している自治体は、まだまだ少なく、特に本町の規模での無償化の実現は、大きな費用が必要となることから、難しい状況でした。

今回、企業誘致に伴う税収の増加も見込まれることから、当該事業の実施が実現できたものです。なお、当該規模の事業実施は、県内最大規模となります。

給食の内容は変わらない？

町では、全ての町立小中学校・保育所に調理場を有する、自校・自園調理方式で給食を提供しています。今後も引き続き、安心安全で栄養バランスの取れた、温かくておいしい給食作りに取り組みます。

4月から

未来ある子どもたちのため

学校給食費・副食費を無償化します

☎ 学校給食費に関すること 学務課 学校給食係 ☎(232)4918
副食費に関すること 子育て支援課 保育所係 ☎(232)2202

町では、一昨年度から子育て世帯の負担軽減のため、町立小中学校の給食費と保育所などの副食費への支援を行っています。令和7年度からはこの支援をさらに拡充し、学校給食費の完全無償化と保育所などの副食費の無償化(上限あり)を実施します。

世界的な半導体関連企業の進出をはじめとする、企業誘致による税収の増加が、来年度からの無償化実現を大きく後押ししています。

魅力あるまちづくりに向けて

町は、これまで企業誘致を積極的に行いながら、農商工業の振興を図り、さらには産業発展や人口増加に対応するためのまちづくりを進めてきました。世界的な半導体関連企業の進出により町は過渡期にあり、交通渋滞や環境問題などの喫緊の課題には、従来の予算枠とは別枠で財源が確保され、現在、国や県と連携し、最優先で道路ネットワークや公共下水道の整備、地下水の涵養などを進めています。

これに加え、今後は、町民の皆さんが企業進出の効果を実感できるように取り組みを進めていきます。

子育て世帯の負担軽減と未来への投資
—企業進出の効果が事業を後押し—

